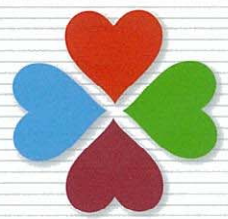


がん診療連携拠点病院 広報誌



がん診療ニュース

Cancer Medical News

2013年9月
第4号

発行 | 佐賀大学医学部附属病院 広報委員会 〒849-8501 佐賀市鍋島5丁目1番1号 TEL0952-31-6511(代)

統計から見た佐賀県のがん

2013年3月調査

統計は、一見して無味乾燥なものとして捉えられてしまうことがありますが、何かを改善しようとした際には、きわめて重要な情報源となります。佐賀県のがん死亡率は残念ながら全国平均より悪い状態が続いております。我々医療者は住民の方と一体となって、この現状を打破したいと考えております。佐賀県にある4つのがん拠点病院が連携をしているいろいろな取り組みを行っております。その一つが、「がん登録」であります。各がん拠点病院の担当者が集まり「院内がん登録データ収集・分析・評価推進ワーキンググループ」を作り、活発に活動しております。これまですでに「がん登録」に関して2度の報告をしてまいりましたが、単年での評価でした。今回2007年から2010年までの症例を収集し分析することで、より有益な情報が得られたと考えております。ぜひ、本報告を参考に、がんの予防・診断・治療にお役立て頂きたいと思っております。

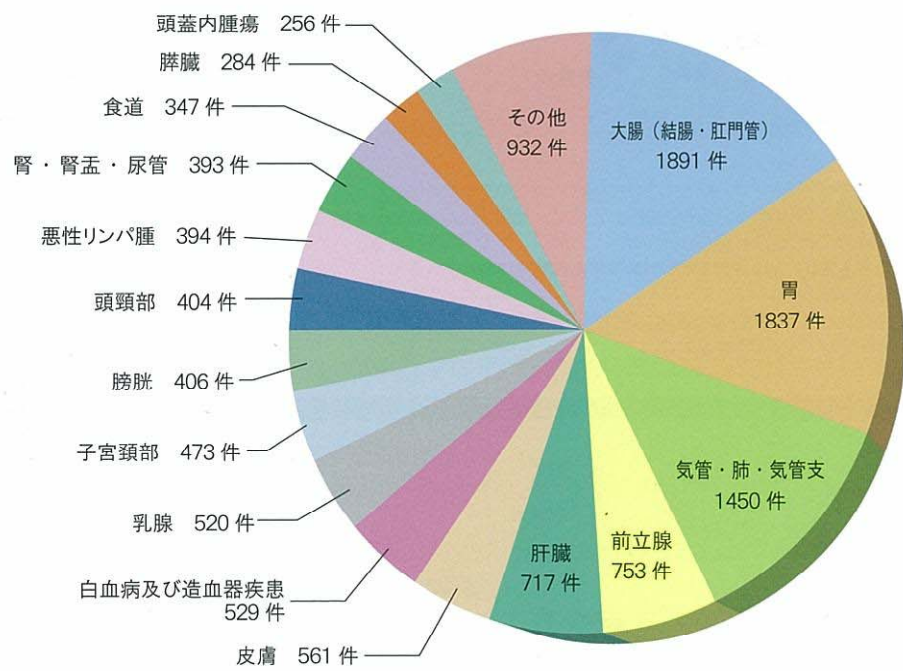
佐賀大学医学部附属病院がんセンター長 木村 晋也

集計対象期間	2007/1/1-2010/12/31
集計対象施設	佐賀県内がん診療連携拠点病院
集計対象症例	初発初回治療症例

部位別 登録件数

— 2007年～2010年 登録件数にみる部位の傾向 —

佐賀県内のがん診療連携拠点病院の院内がん登録データにおける部位ごとの件数と登録割合を示すことで、佐賀県におけるがんの発生傾向をとらえています。



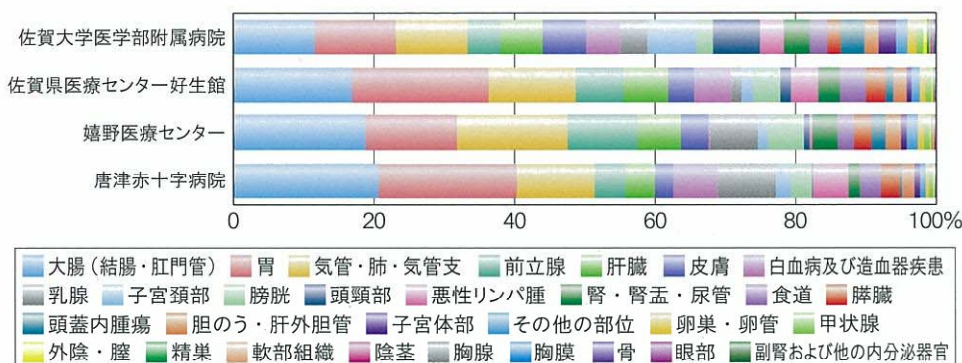
施設別 主要部位の登録割合

— 2007年～2010年 主要部位の登録割合に見る 傾向と推移 —

施設ごとに登録部位の割合を比較してみました。

登録症例の多い5大がんと前立腺がんを合計した範囲で比較すると、病院ごとに割合の差が存在し、各施設の特徴と思われる部位を見出すことが出来ました。

数値の大小だけでなく、現れたデータに関する見解を各施設担当者と考え、がんに向けた総合的な取り組みに活かせるよう共有していく必要があると考えました。



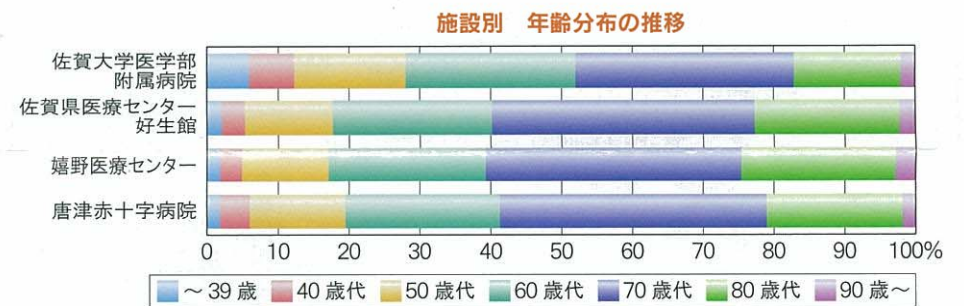
年齢分布の推移

— 2007年～2010年 診断時年齢の傾向と推移 —

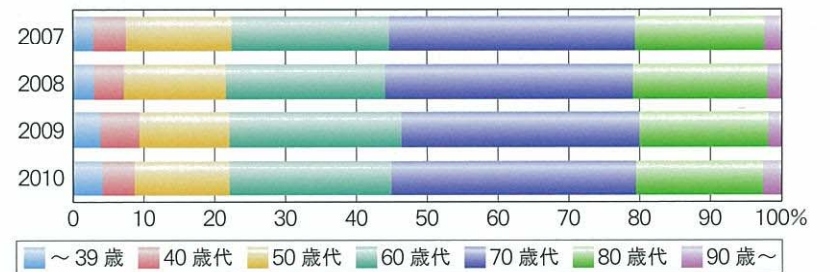
診断時年齢を施設ごと、診断年ごとに割合表示しました。

診断年による年代割合の変化は軽微であることがわかります。

施設別の年齢分布をみると、佐賀大学医学部附属病院は他の施設に比べて若い年齢層の患者割合が高いことが見て取れます。



診断年別 年齢分布の推移



施設別 主要5部位登録件数の推移

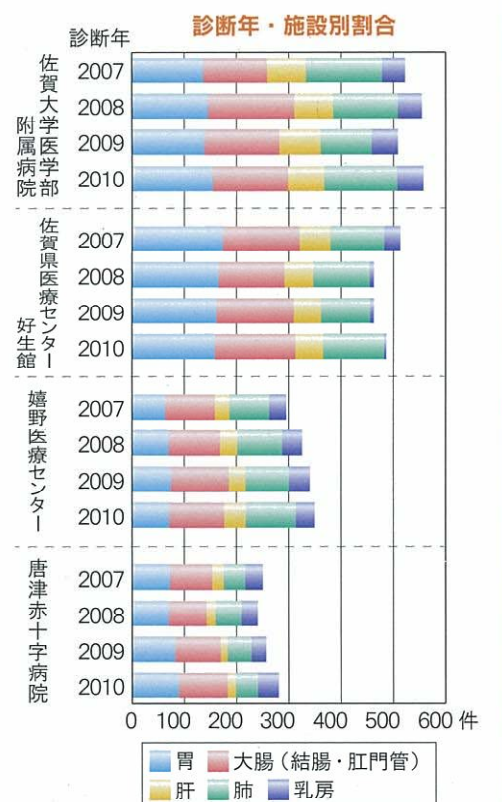
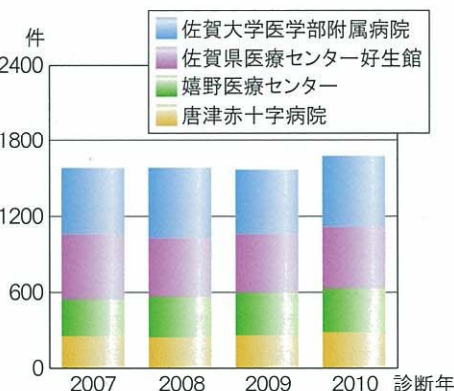
— 2007年～2010年 —

登録件数を年推移でみると各施設ともおおむね増加傾向となっています。

しかし、1施設のみでの傾向をみる場合は、医師の転勤などによる移動、国・県の施策による患者数の増減が顕著になる場合があることがわかりました。

県内の発生傾向をとらえるためには、1施設による偏りを防ぐために、院内がん登録を実施する参加施設の増加によるデータの安定性が重要といえます。

主要5部位登録件数

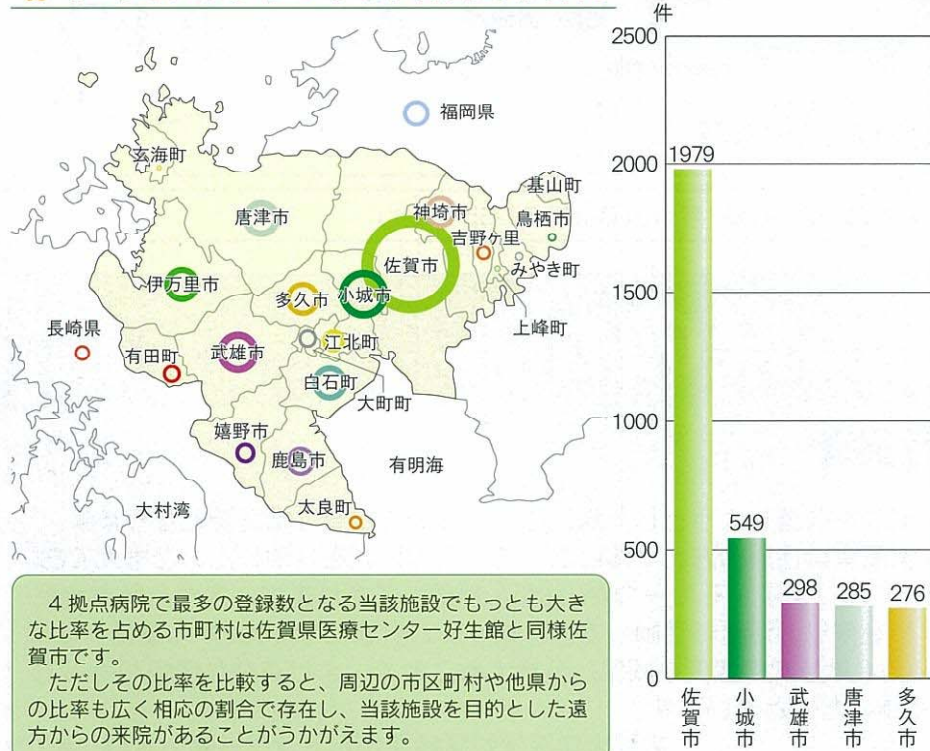


マッピング 診断時住所の散布図

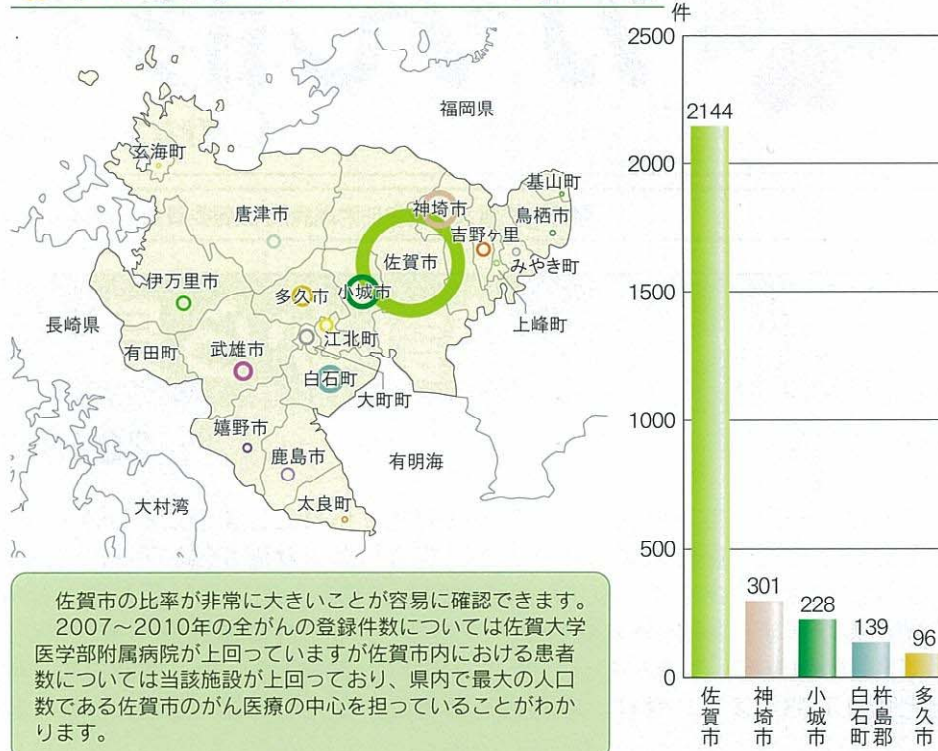
— 2007年～2010年 診断時住所からみえる拠点病院の来院状況 —

診断時の住所の分布を示すことで各施設が地域医療についてどのような役割を示しているか視覚的に把握してみました。

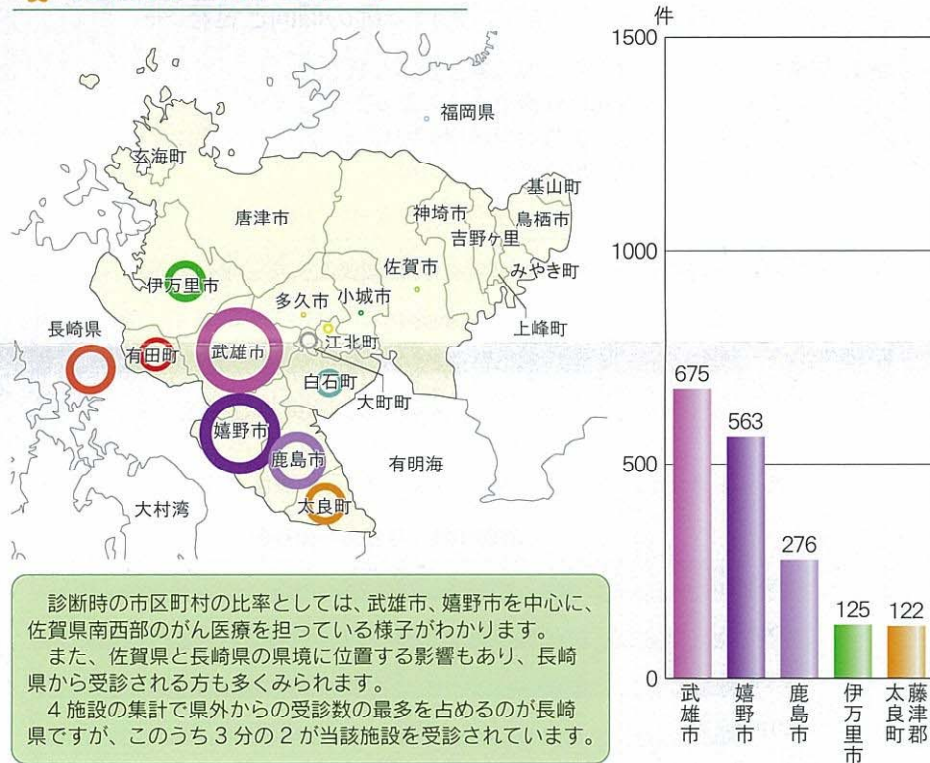
佐賀大学医学部附属病院



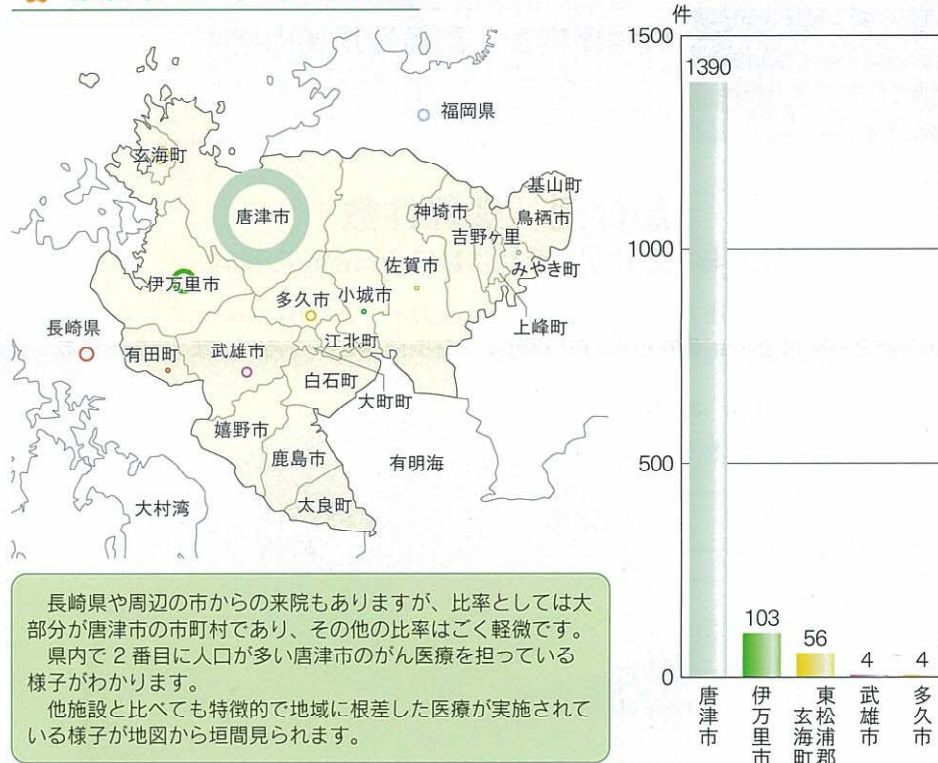
佐賀県医療センター好生館



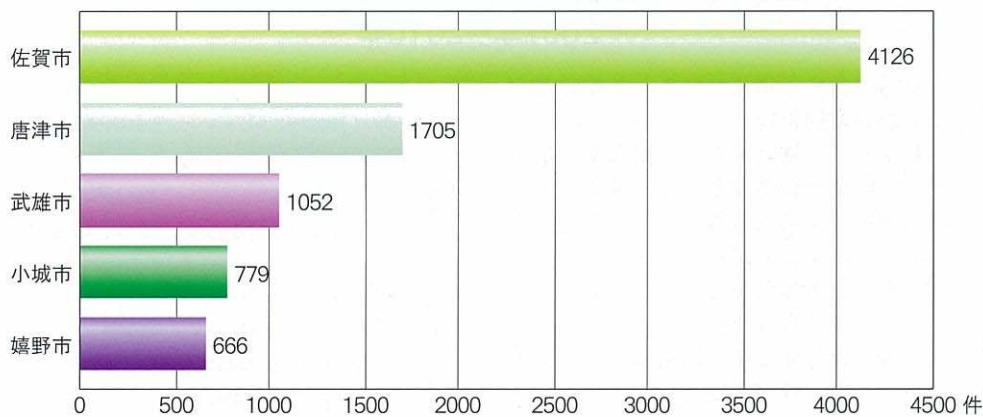
嬉野医療センター



唐津赤十字病院



肝細胞癌



佐賀県は全国でも肝がんの死亡率が高いとされています。
4 施設に肝細胞癌で受診された方を住所別に表すと、佐賀市が最多になりました。
地区別の分析には4施設以外に受診されている方も考慮しなければなりませんので、今後も定期的に集計を行い、傾向を見ていく必要があると考えます。

用語の解説

佐賀県内で厚生労働省から指定を受けたがん診療連携拠点病院

- 佐賀大学医学部附属病院
- 佐賀県医療センター好生館
- 唐津赤十字病院
- 嬉野医療センター

がん診療連携拠点病院が行う院内がん登録

厚生労働省が、がん診療の地域格差を無くし、質の高いがん診療を提供することを目的に2次医療圏に1ヶ所を目標に、がん診療連携拠点病院の指定を行っています。また、「標準登録様式」に基づく院内がん登録を実施していることが、がん診療連携拠点病院の指定要件の1つとなっています。

院内がん登録データ収集・分析・評価推進WG

- 佐々木和美 (佐賀大学医学部附属病院)
- 酒井 恵 (嬉野医療センター)
- 光石はつみ (佐賀県医療センター好生館)
- 岩本利恵子 (唐津赤十字病院)
- 大上 真哉 (佐賀県健康増進課)

編集後記

このたび3度目のデータ公開を迎えました。これまで2007年症例単年の評価でしたが、2010年症例まで収集し分析することで、より進んだディスカッションがWGで行えました。今後も引き続き行っていきたいと思います。
詳細について、こちらにも掲載していますのでご覧ください。
佐賀県がん診療連携協議会ホームページ(<http://air.med.saga-u.ac.jp/gankyoten/>)
(佐々木 和美)